



12月の 園だより

令和7年12月1日
目黒区立目黒本町保育園園長

幼児クラスの子ども劇場の練習が大詰めとなり、ホールから賑やかな声が聞こえてきます。それぞれのクラスが日頃から親しんでいる絵本の世界を表現します。練習風景を覗くと3歳児クラスの子どもたちはそれぞれが自分の思い描く動物になって、保育士と一緒にごっこ遊びを楽しんでいます。4歳児クラスの子どもたちの劇はストーリーの中にお気に入りの場面があり、登場人物を人形や自分で演じて友達と遊んでいる間に、オリジナルの台詞や動きが生まれていました。自分の役はどんな人なのかを想像して演じているのは5歳児クラスの子どもたちです。「厳しい人ってどうやってしゃべるかな」と友達と相談しながら進めていました。各年齢の表現あそびに発達の違いを感じ、一年ごとの成長を嬉しく思いました。当日はどんな姿を見せてくれるか楽しみにしています。お忙しいとは存じますがご参加いただけたら幸いです。

先月、雨で変更になった芋ほり遠足のさつまいもが届き、焼き芋にして食べました。5歳児の子が毎日テラスに並べ甘くなるように世話をしていました。「何本あるのかな」と数名が数え始めましたが途中でわからなくなっちゃったとその場を一人また一人と離れる中、最後まで根気よく数えている子がいました。「80本だ」と誰かに教えるわけでもなくつぶやくと満足そうに遊びに戻っていきました。運動会や子ども劇場などの行事では保護者の方の声援を受けながら友達と協力して出来たという子どもたちの充実感を感じますが、この小さな一場面にも子どもの満足が伝わってきました。これからも子どもたちの満足する気持ちを大切に保育していきたいと思います。

今年も園の保育を温かく見守っていただきありがとうございました。
よいお年をお迎えください。

行事予定

子ども劇場	3～5歳児
乳児お楽しみ会	0～2歳児
身体計測	全園児
避難訓練	



『お知らせ』

12/28(日)～1/4(日)まで
お休みです。



「子どもたちの声を聴いて」

～副園長～



毎朝「おはよう」と声をかけてクラスを回り、子どもたちの様子を見ながら遊んでいます。ある日、2歳児クラスのテラスで子どもたちと空を見上げました。雲一つない青空を見て「お空の雲どこに行ったのかな」とつぶやくと、その声を聞いて「くもさん おかしたべにいったんじゃない」とそばにいた子が話してくれました。「えっお菓子」なんともかわいい発想に、楽しい気持ちになりました。また別の日は、幼児トイレのサンダルを揃えていると「先生何してるの」と3歳児の子が声を掛けてくれました。「サンダルを揃えているの」と応え「バラバラにならないようにするにはどうしたらいいかな」とつぶやくと「足跡を描けばいいんじゃない」と返してくれました。「えっ足跡」思ってもみないアイデアに驚き、感心してしまいました。

子どもたちは日々の生活の中で自由に考える経験も積み重ね、大人が思ってもみないことを言って驚かせてくれることがあります。これからも子どもたちの様々な声をたくさん聴いて、面白がったり、時には「それ やってみよう」と思いを実現したりしながら子どもたちと関わっていききたいと思います。



部屋の中の好きな遊び



ひよこ組

「くずしたり、つんだり」

保育士が積み木を積むと、それに気がついた子がやって来て、積み木を崩してこちらを見ます。「うわっ、たおれたね」と保育士がもう一度積むと、すぐにまた崩します。崩れた時の音を楽しんでいるようです。「いい音したね」と言うとき声を出して笑っています。そのそばでは他の子が自分で積み木を積んでいましたが、積むと崩れてしまったので、保育士が1つ積んでみると、またすぐに始めて、ゆっくり、そっと上に乗せていきます。高くなると“見て”といった表情で保育士を見上げ、「高くなったね」と保育士が喜ぶと嬉しそうに拍手をしていました。同じ玩具でも一人ひとりが色々な遊び方をしています。これからも保育士と一緒に繰り返し遊んでいきます。



りす組

「わたしも ぼくも」

洗面器にチェーンを沢山入れ「カレー」と言ってスプーンで音を立てながら混ぜていました。「カレー」と聞いた子が見に来て「カレーたべる」と同じように洗面器を持ってきて隣で混ぜたり、椅子に座って待ったりしています。「カレーくださいな」と保育士が器を出すと「はい」と洗面器から手で掴みチェーンを入れてくれました。保育士と友達のやりとりを見ていた子たちも「〇〇ちゃんカレーあるよ」「まって」と鍋からお手玉や丸チェーンを次々に入れて、あっという間に山盛りのカレーがいくつも出来上がりました。「おにくあった」とスプーンですくったお手玉を口元に運び「おいしいね」と笑い合っています。友達と同じことをするのが、大好きです。



うさぎ組

「友達と一緒に遊びたい」

保育士や友達と一緒に花はじきのリングを並べクッキーやせんべいに見立て「いらっしゃいませ」とお店さんが始まりました。「これがいいです」とお客さんになった子が言うとき「どうぞ」と巾着袋に入れて渡しています。それを見ていた子も同じようにチェーンを並べお店を始めると友達が「これください」とやってきましたが「まだ焼けてないからダメです」ときれいに並べたチェーンを手放すのが惜しくなりました。友達に渡したくないけれど、お店屋さんごっこのやりとりはしたくて友達に視線を向けているので、保育士が「大事だったんだよね。一緒にいらっしゃいませしてみる」と声をかけると「いらっしゃいませ」とお店さんがまた始まり友達とやりとりを楽しんでいました。

保育士も一緒に遊びながら友達と遊ぶことが楽しいと感じられるようにしていきます。